

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 23 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 1 日 作成

事務事業名		国民健康保険給付事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名	坂井 修
	基本事業	46	保険医療制度等の健全な運営		所属班	国保年金班	(内線)	2165
法令根拠		国民健康保険法						
予算科目	会計	10	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 3 コスト削減優先度評価結果 11
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和36 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 療養給付、療養費、高額療養費、移送費、出産育児一時金、葬祭費の支給								
【業務の流れ】 被保険者からの申請・請求→提出書類等の審査→同上費の支出								
【主な予算費目】(保険給付費)02-01療養諸費、02-02高額療養費、02-03移送費、02-04出産育児一時金、02-05葬祭費								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 療養給付、療養費、高額療養費、移送費、出産育児一時金、葬祭費	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 国保加入者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 保険給付額 千円 イ 合志市民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適切な医療が受けられる	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 国保加入者(年度平均) 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 医療保険制度が適切に運営されている	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 1人あたり保険給付額 千円 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 一般会計からの繰入額 千円 イ 保険給付に占める保険税比率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	929,694	968,216	970,820	931,990	931,000	931,000	総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0          0          0	
		都道府県支出金	千円	152,132	146,756	120,518	146,835	146,000	146,000		
		地方債	千円								
		その他	千円	1,507,795	1,083,425	1,253,201	1,124,824	1,240,000	1,240,000		
		繰入金	千円		261,894	249,163	302,773	300,000	300,000		
		一般財源	千円	791,086	692,592	905,879	907,801	780,000	780,000		
	(A) 事業費計	千円	0	3,380,707	3,152,883	3,499,581	3,414,223	3,397,000	3,397,000		
	うち指定経費	千円		3,380,707	3,152,883	3,499,581	3,414,223	3,397,000	3,397,000		
	うち時間外、特殊勤務手当	千円		0							
	人件費										
正規職員従事人数	人		4	5	6	6	6	6			
延べ業務時間	時間		1,198	1,477	1,517	1,500	1,500	1,500			
(B)人件費計	千円	0	4,768	5,878	6,038	5,970	5,970	5,970			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,385,475	3,158,761	3,505,619	3,420,193	3,402,970	3,402,970			
活動指標	ア 千円 イ 人		3,012,842 53,450	3,380,707 54,047	3,152,883 54,467	3,499,581 54,407	3,414,221 55,000	3,597,000 56,000	3,377,000 56,000	目 標 合 計 値 画  22 年 度	
対象指標	ア 人 イ		17,075	17,193	13,475	13,396	17,420	17,540	17,540		
成果指標	ア 千円 イ		359,982	386,052			384,615	383,124	383,124		
上位成果指標	ア 千円 イ %		686529 (43.5) 32.5	685758 (39.4) 28.7	590200 (45.0) 35.0	439812 (30.2) 26.7	610000 (45.0) 35.0	630000 (45.0) 35.0			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

国民健康保険制度

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

医療制度改革により国庫・県負担率の改正

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

今後の国保運営及び保険税率改正について、市民、議会等に周知を図る必要がある。

事務事業名	国民健康保険給付事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 国民健康保険法による
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 国民健康保険法による
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 国民健康保険法による
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 レセプト点検強化による過誤調整
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 国民健康保険法により休廃止不可能
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国民健康保険法 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 支払いであるので削減できない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在での必要最小人員である
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国民健康保険制度であり公平である

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ ②有効性については、レセプト点検の更なる強化で、過誤調整に努めたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・国保財政の安定運営のため、医療費の適正化を図り、保険税率の適正設定が必要である。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・医療費の適正化を図るための市民への周知、広報 ・被保険者の皆様に健康診査等を受診していただき、健康管理についての意識の高揚を図る。																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	12	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )